



## 教皇様の聲

# 10

258号

Libreria Editrice Vaticana, Citta del Vaticanoの転載許可済 2001

## 主の約束の実現

[カステル・ガンドルホにて、聖母の被昇天の祝日でのお話。]

1 「最後の敵として、死が滅ぼされます。」(1コリント15,26)先ほど第2朗読で読まれたパウロの言葉は、本日お祝いしている祝日の重要性を示してくれます。死はアダムの罪のため世に入りますが、それに対するキリストの決定的な勝利は、地上での生活の最後に天に上げられたマリアにおいて輝きます。「新しい」アダム、キリストこそ死を克服された方です。キリストはカルワリオでいけにえとしてご自分をお捧げになりましたが、それは御父に対する愛すべき従順によるものでした。こうして、キリストは罪と悪の隷属から私たちを救ってくださったのです。おとめマリアの勝利において、教会は、御父が御独り子の真の母としてお選びになったマリアを黙想し、あがないによる救いの計画とマリアを密接に関連づけます。

典礼も指し示しているように、このことからマリアは私たちの希望の慰めの印です。御母を眺めると、天使の大群の喜びの真只中に上げられ、光と影がある人間の全生活は、永遠の幸せという展望に開かれます。日常生活の経験を考えると、地上での生活は不確かさや闘争のもとにあると感じますが、天の栄光に上げられたおとめマリアは神の助けが欠けることはないことを確信させてくださいます。

### 死は終わりではなく生命と天の至福の通過点

2 「天に大きなしるしが現われた。一人の女が身に太陽をまとい」(黙示録12,1)。兄弟姉妹の皆さん、マリアを見つめましょう。皆さんは、キリスト者が心から愛する祝日のためにここにお集まりになっています。皆さんを心からお迎えしています。(…)皆さんが被昇天の祝日を喜んで祝い、黙想の糧をたくさん得ることができるようになります。

今日は天国に偉大な印、おとめマリアが私たちのために示されています。第一朗読で黙示録の著者はマリアについて語ります。何という奇跡を驚き眺めていることでしょうか。地上の現実を見ていた私たちはそのまなざしを天に上げるよう招かれています。天国は本物の故郷でありそこで幸いなおとめが私たちを待っています。

現代は以前よりももっと物質的な興味や関心にほんろうされているかもしれません。人々は平安を求め、

そして孤独や不安を感じています。それでは、死という謎について何が言えるのでしょうか。全ての人は死ぬ運命にあるのですから、マリアの被昇天は私たちにとって重要な出来事です。けれども、死は最後を意味する言葉ではありません。おとめマリアの被昇天が示しているように、死は生命への通過点、愛との出会いなのです。死は永遠の幸せへの通過点であり、この幸せは真理と正義のために苦勞して働き、キリストに従うために最善を尽くす人のために蓄えられています。

3 「今から後、いつの世の人も、わたしを幸いな者というでしょう。」(ルカ1,48)この賛歌は、キリストの御母が高齢のいとこエリザベトに会ったとき歌われたものです。福音はマリアの賛歌を再び示しますが、それはエリザベトの詩的な言葉に対する聖母の応えでした。「主がおっしゃたことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょ。」(ルカ1,45)

マリアにおいて約束が実現します。マリアは祝福されますが、御母の子である私たちも、マリアのように耳を傾け神のみことばを実行に移すなら祝福されるでしょう。

今日の祝日によって、人生についてのこのより高い見方に心が開かれますように。今日黙想した御子の右手で輝くおとめマリアの助けによって、現代に生きる人々が「神のみことばの実現」を信じて生きることができまますように。

### 死と悪へのキリストの勝利を伝え続ける

4 「今日地上の教会の子供たちは、おとめマリアが天の都、天国のエルサレムへ向かわれるのを喜び祝います。」(Laudes et hymni, VI)この賛歌はアルメニア教会が今日歌うものです。この賛歌を歌いながら、あと1ヶ月と少しで出発することになっている、神をお喜ばせるカザフスタンとアルメニアへの使徒的巡礼に思いを巡らしています。マリアよ、教会と世界に仕える新たな段階の成功をあなたにゆだねます。神を信じる人々を助けてくださるようあなたにお願いします。人々が希望の見張りとなって、失望せず、悪と死の勝利者キリストを述べ伝え続けることができますように。信仰あつ御母、現代の人々を照らし、全ての人の生命が一握り

のちに消えるのではなく、永遠の幸せという運命に呼ばれますように。「天と地の喜び」であるマリア、私

たちと全世界を永遠に見守りそして祈ってください。  
アーメン。  
(2001.8.15)

## あなたたちは神のもの

〔第2回国際集会「アッシジへ向かう若者」に集まった800人の若い人々へのお話。〕

1 第2回国際集会「アッシジへ向かう若者」に参加された皆さん、ようこそ。皆さんをお迎えしていることをうれしく思っています。福音の言葉で喜んであいさつしましょう。「主の平和がみなさんに与えられますように。」皆さんは世界中の様々な場所から共に黙想するために集まり、質素なフランシスコ会の場所で、聖霊の二人の勝者アッシジの聖フランシスコと聖クララを自分の目で確かめるためにやって来しました。

皆さんの喜ばしい訪問に感謝しています。(…)

皆さんの国際集会に選ばれたテーマは「喜び」です。私たちは皆、熱烈で永遠に続く喜びを必要としているのですから、これは大変興味深い時機に適ったテーマです。

2 フランシスコは若い頃、仲間たちからパーティー王と呼ばれていました。気前がよく寛大で明るい人気者だったからです。人間的には幸福になる理由をたくさん持っていたはずでしたが、それでも何か足りないものが分かったとき全てを捨てました。キリストと出会い真の幸福を発見したのです。理想のために人生を捧げ要求の多い福音の助言の光のもとで生き抜き何かを作り上げることよってのみ、人は幸福になるということに気付きました。

若者の皆さん、多くの偽りの教師たちが、つかの間の喜びや満足に通じる危険な道を示しています。現代の文化的表現は、うわべだけのものです。フランシスコとクララについて黙想し、皆さんの夢を安く売ることを拒んでください。夢を見ましょう。ただし自由のうちに。計画を立てましょう。ただし真理のうちに。

主は次のようにも尋ねられます。「あなたも行ってしまいませんか。」使徒ペトロと一緒に答えてください。「主よ、わたしたちは誰のところへ行きますか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。」(ヨハネ6.68)神お一人だけが、皆さんの人生の無限に広がる地平線です。神を知れば知るほど、神だけが愛であり、喜びの無限の源であることがもっとよくわかるでしょう。

神と触れ合い始めそれを続けるためには、祈りの中で神との深い関係を築くことが不可欠です。祈りが本物であれば、人生のあらゆる状況・瞬間に神のエネルギーを広めます。祈りによって私たちの生活は新しくなります。フランシスコを新しい人にし、クララを光の源にしたのは祈りではありませんか。

3 皆さんは神のものであり、神は皆さんのものです。

神に属していることを意識していれば、皆さんはフランシスコやクララのように、神の現存によって平安を得る人になることでしょう。クララは手紙の中でこう書いています。「神の愛は幸せを与え、その優しさは靈魂全体に行き渡ります。天国より偉大な神の、恩恵がお作りになった靈魂はあらゆる被造物の中で最も価値あるものです。空も他のどんな被造物も創造主を含むことはできませんが、信仰あつい靈魂だけは神がお住まいになる家なのです。」(FF2901;2892)

靈魂は天国よりも偉大なものです。フランシスコとクララはこの深い靈的事実を理解したので、ためらわず聖性の頂に向かいました。聖性は、少数の「天才」にしかできない特別な修徳の旅ではありません。しかし使徒的書簡「新千年期の初めに」で思い出したように、聖性は普通のキリスト者が生きる「高い水準」ではありません。(31参照)聖性とは何か神をお喜ばせすることを毎日行うことですが、神が私たちの中で私たちのためになさったこと、行い続けておられることを認識することでもあります。若い友人の皆さん、聖人になってください。聖性の不足は世界を悲しませることになります。皆さんを鼓舞する聖人は非常に心を引きつけ続けています。聖人たちは全生涯を余すことなくキリストに捧げたからです。また聖人たちは無意識に「革新的な」福音のスタイルを生み出しました。これは今日でも多くの若者、そしてあらゆる人々を魅了し続けています。皆さんも聖人たちの証しという魅力に捕らえられ、またこの集会に参加したことで、聖人たちを忠実に真似たいという願いが強められることでしょう。

4 フランシスコとクララは、全人類だけでなく、全生物と無生物の兄弟姉妹となりました。フランシスコは自然を黙想し、あらゆるものが神について語っていることを発見すると、目は喜びにあふれ太陽の歌の賛歌で叫びます。あらゆるものは「至高なるあなたから意味を生み出します。」(FF263)

若い皆さん、皆さんもまた神の目で、周りのもの、被造物を眺めることを学びますように。特にその頂点である人間を尊重してください。すばらしい先生のいる学校で物を注意深く丁寧に扱うことを学んでください。全ての人の権利が完全に尊重され、物がよりよく分配され共有されるよう最善を尽くしてください。偉大な創造の書を読んで、皆さんの靈魂が創造主への感謝に満ちた称賛へと開かれますように。

5 クララやフランシスコのように、神の助けを絶えず

「聖なるロザリオ」キリストと聖母の一生を描くロザリオの各玄義を黙想するために書かれたものです。著者ホセマリア・エスクリバー、一二〇〇円(税抜価格)  
お問い合わせは 〒659-0093 芦屋市船戸町12-6 精道教育促進協会 出版部 TEL 0797-31-3452 FAX 0797-31-3448

頼みとすることを学んでください。二人は皆さん一人ひとりに繰り返します。「あなたの信頼を新たにして主に置いてください。そうすれば、主はあなたのめんどろを見てくださるでしょう。」(FF367)そうです皆さん、神への信頼です。また、聖母に子どもとして信頼し、ぬくもりと保護を求めるフランシスコとクララを真似てください。甘美なる御母マリアに近づいてくだ

さい。教会は聖母を何世紀もの間「喜びの源」として呼びかけ祈ってきました。聖母は皆さんにとっても喜びの源となるでしょう。マリアはあらゆる人々を心にかける御母だからです。

この望みをもって、祈りで皆さんを思い出すことを約束し、心からの祝福を送ります。

(2001.8.18)

## キリストを愛する若者

[8月19日カステル・ガンドルホにて、お告げの祈りの時間に、教皇様は若い人々のことを思い出された。]

1 昨年のちょうどこの時間トル・ベルガータでは、たくさんの人々が集まり、第15回目の世界青年大会が閉幕されました。土曜日の夜に行われた徹夜ミサや大会を締めくくる日曜日の荘厳な聖体祭儀での感動的な場面を思い出します。2000年大聖年の真只中に行われたあの素晴らしい出来事は、誰もが記憶に留めていますが、特に若い人々の思い出が心に残っています。若者たちは、教会と世界に希望という前途有望な幕開けを示しています。徹夜ミサで私は若者たちに大きな愛を預けました。「あなたたちは3千年期の幕開けにおいて愛を『見張る人』です。」そして次の日、閉幕ミサの説教の中で、若者たちがあるべき姿であるならば「世界中を燃え上がらせることができるでしょう。」という話をお話ししました。

2 あの熱烈な靈的出来事をいつも思い出し、すでに2002年に行われる次の世界青年大会のことを考えています。次の大会も画期的な出来事となることでしょう。1985年の「世界青年年」に始まった巡礼は、回数を重ねるにつれ参加者の数は増えていき、5大陸の様々な場所から十字架に集まって来ました。2002年の大会はトロントで行われます。北アメリカ・カナダの近代大都市トロントには、様々な生まれ、文化、宗教を持つ人々が隣り合わせに暮らしています。こうした入り混じった複雑な現実の中で、キリスト者が「地の塩」「世の光」でなければならないことはすぐにわかるでしょう。このことから「あなたがたは地の塩である。...あなたがたは世の光である。」(マタイ5,13-14)というイエスの言葉は、次の世界青年大会のテーマ、主旨となり

ます。

洗礼によってもたらされる義務に注意し、若い信者たちはキリスト者としてふさわしくないばかげた娯楽やファッション、テレビ番組などに身をゆだねるべきではありません。逆に、主に対する高貴な希望を育て、残念ながら現代社会に広がっている凡庸や順応主義を避ける努力をしなければなりません。

3 若い皆さん、皆さんは、聖性への熱意がなければ「地の塩」でも「世の光」でもないことをよく理解しています。皆さんが生活の中でこの高い靈的理想を持ち続けることを私はどんなに願っていることでしょうか。3千年期の人類は、信仰があつく兄弟姉妹に寛大に仕える若者を必要としています。キリストと福音を愛する若者が必要なのです。

教会が皆さんに指摘することは、現代の様々な状況にいる皆さんの仲間も、洗礼を受けた全ての人それぞれに固有な召し出しを完全に生きる方法を知るべきだということです。教会は祈る方法と、神の助けやマリアの母としての執り成しに対する固い信頼を皆さんに示します。次の世界青年大会の準備と期待、出来事を幸いなおとめにゆだねます。私は、10年前のチェンストホバでの若者の集まりを思い出して、この数年間繰り返しおとめマリアに呼び求めてきました。その集まりは被昇天を祝うために行われたものですが、今でもその時の言葉を使って祈っています。「世の元后マリア、教会の御母マリア、私たちはあなたと共にいます。」

(2001.8.19)

## み摂理の働き

[水曜日の一般謁見での詩編32(33)についての要理講話。]

1 詩編32(33)は、ヘブライ語のアルファベットと同じ数である22の節から成り立ち、宇宙と歴史の主を称賛する賛歌です。始めの数行から喜びの余り震えが走っています。「主に従う人よ、主によって喜びうたえ。主に賛美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ、十弦の琴を奏でてほめ歌をうた

え。新しい歌を主に向かってうたい、美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。」(1-3)この叫びは音楽を伴い、信仰と希望、喜びと信頼の心の声を表現します。賛歌が「新しい」のは、創造と人間の出来事にある神の現存への確信が新たになるからだけでなく、救いの最後に歌われる完全な称賛を先取りするからでもあります。

最後の日、神の国は栄光を実現していることでしょう。

聖バシリオは、キリストにおけるこの最後の実現を切望して見つめ、次のように説明します。「一般に『新しい』というのは何か特別で存在し始めたばかりのことを指します。主の託身という驚くべき想像を絶する出来事を考えると、新しい聞いたことのない歌を歌わなければならないかもしれません。また、罪に身をゆだねていた人間の改心と刷新を回想し、あがないの秘義を伝えるときも、新しく特別の歌を歌うかもしれません。」(『詩編についての説教』32,2;PG29,327)簡単に言えば、聖バシリオによると、詩編作者の招きは次のようなことを示しています。「新しい歌を主に向かってうたえ」はキリストを信じる者に向けられたもので、これは「『文字』という古代の習慣に従ってではなく、新しい『精神』で神を崇拝するように」ということを意味しているのです。確かに、神の掟を形式的に理解するのではなく、掟の中の「精神」を認める者は、「新しい歌」を歌うのです。(同上)

### 創造のみことばで神は宇宙を造られる

2 中心的な部分で、賛歌は称賛の3部作を形作る3つの部分につながれます。最初の部分(6-9)では、神の創造のみことばが祝われます。宇宙の素晴らしい建造物は、宇宙の神殿のようですが、古代近東の宇宙生成論が言うような神々の戦いから起こったり発展したものではありません。それどころか効果的な神のみことばを基礎にしたものです。ちょうど創世記の1 ページ目が教えています。「神は言われた。... そのようになった。」(創世記1 参照) 事実、詩編作者は繰り返しています。「主が仰せになると、そのように成り、主が命じられると、そのように立つ。」(詩編32,9)

祈る人は海の水を支配することを大変重要視します。聖書では、海の水は混沌と悪のしるしだからです。世界はその限界にも関わらず創造主のおかげで存在を続けます。ヨブ記にあるように、主は海岸で海が止まるよう命じられます。「ここまでは来てもよいが越えてはならない。高ぶる波をここでとどめよ。」(ヨブ38,11)

### 神のみ摂理にとって小さすぎるものはない

3 2つ目の部分、詩編32(33),10-15節で言われるように、主は人間の歴史も支配されます。地上の力の計画は強く対立して、歴史をたどる神の素晴らしい計画に反抗します。取って代わろうとする人間の計画は、不正義、悪、暴力をもたらし、正義と救いの神の計画に反対して立ち上がります。一時的、表面的に成功するも

の、最後には単なる陰謀になり下がり、崩壊と衰弱へと運命づけられます。このことは箴言の書に要約されています。「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。」(19,21)同様に詩編作者が思い出させることは、神はその超越的な住まいである天国から、全人類の道、ばかげた愚かな生き方にさえ同伴され、人間の心の秘密を直観されるということです。

「あなたがどこへ行こうと何をしようと、暗闇の中でも昼の光の中でも、神の目はあなたを見つめています。」と聖バシリオはコメントしています。(『詩編についての説教』32,8;PG29,343)神の啓示を受け入れ、人生についての勧めに従い、歴史を通る神の道をたどる人は幸せです。最後にただ一つのことだけが続きます。「主の企てはとこしえに立ち、御心の計らいは代々に続く。」(詩編32,11)

### 神だけが人間の出来事を支配し

#### 信仰と希望を呼びかける

4 詩編32(33)の3番目、最後の部分では(16-22)、神だけが人間の出来事を支配するという点を2人の新しい天使から再び取り上げます。一方で、馬や兵隊から惑わされないようにと神は力強い者を招き、それから信仰者を招きます。信仰者はしばしば抑圧され死に瀕していますが、主が自分たちを破壊の深遠に陥れることはないという強い希望を持っています。こうして、詩編の「教理問答の」働きも明らかになります。詩編は、神に対する信頼への呼びかけに変わりますが、神は権力者の傲慢に無関心ではなく、人間の弱さのそばにおられます。人間の弱さが神を信頼し、神に自らをゆだね、神に祈り賛美するなら、弱さは元気づけられ支えられます。

聖バシリオはさらに説明します。「神に仕える者の謙遜は、神の哀れみに希望していることを示しています。確かに、自分の大きな企てに頼らず、自分の働きによって義化されることを期待しない者は、救いへの唯一の希望を神の哀れみの中に見るのです。」(『詩編についての説教』32,10;PG29,347)

5 詩編32(33)は、有名なテ・デウムの賛歌の一部となった交唱で終わります。「主よ、あなたの慈しみが我らの上にあるように、主を待ち望む我らの上に。」(22)神の恩恵と人間の希望が出会い抱擁します。ここで使われているヘブライ語の「ヘセド」の意味によると、確かに神の愛すべき忠実さは、マントのように私たちを包み、温め、守ってくださいます。そして、平安を与え、私たちの信仰と希望に安定した基盤を与えてくださるのです。

(2001.8.9)

「教皇様の聲」 ヨハネ・パウロ二世教皇の説教、書簡、講話等を解説なしにそのまま伝える月刊紙

■毎月10日発行 ■定価：送料とも一部186円 ■年内定期購読：送料とも一部2,087円(税込)

詳しくは、精道教育促進協会までお問い合わせ下さい。

財団法人 精道教育促進協会 〒659-0093 兵庫県芦屋市船戸町12-6 TEL. 0797-34-5920

FAX. 0797-34-4920 振替口座：01130-8-72393 財団法人 精道教育促進協会

「カトリック教会のカテキズム」に準拠した

# 『イエス・キリストの 教え』 内容見本。(近日中に出版予定)

## 15. 聖母マリア

救いの業を成し遂げるために、神は一人の人間の自由な協力をお求めになりました。それが聖母マリアです。そのために、神は永遠の昔から彼女を御子の母としようと予定されました。第二バチカン公会議は次のように断言します。「あわれみ深い父は、女が死への役割を持ったと同様に、女が生命への役割を持つように、予定された母の承諾が受肉に先立つことを望んだ」(教会憲章56番)。

マリアは救い主の母となるために、「これほどの任務にふさわしい賜物を神から受けた」(教会憲章56番)。至聖三位一体はマリアが神の恩寵に満たされることを望まれた。この恩寵の充満のために聖母は原罪なしに生まれ、しかもいかなる罪も犯さず、「全く聖なるお方」であったのです。大天使ガブリエルが彼女に救い主の母になるという神のご計画を告げたとき、聖母は即座にそのみ旨に承諾の意を表しました。「私は主のはしためです。おことばのとおりになりますように」(ルカ1,38)。

福音書はマリアを「イエスの母」と呼んでいます(ヨハネ2,1; 9,25; マタイ13,55参照)。教会は、聖母が真の神であり真の人間であるイエスをお産みになったゆえに、神の母と呼んでさしつかえないと信じます。この信仰を否定したネストリウスに対し、エフェソの公会議は次のように宣言しました。「インマヌエルが真の神であること、それゆえ人となったみことばを肉によってお生みになったマリアが神の母であることを否定する者は、排斥される」(聖キリロスによるネストリウス排斥1、カトリック教会公文書資料集252番)。

神はまたマリアに処女性の特権をお恵みになりました。イエスは男性の介入なしに聖霊の力によって生まれたのです。教会の教父たちは、この処女懐胎をイエスが本当に神の子であることの証拠であると考えます。教会は、マリアが終生処女であったと信じ、それゆえキリスト信者はマリアを「処女(おとめ)」と呼びます。聖アウグスティヌスはこの信仰を次のようにまとめました。「マリアは御子を宿したとき、妊娠中、出産のときも、出産後も常に処女であった」(説教186,1)。

\*\*\*\*\*

### 95 聖母マリアとは誰ですか。

聖母マリアとは、恵みと徳に満ちあふれ、原罪なしに生まれ、神の母であり私たちの母でもある方で今は体と靈魂をもって天国におられます。

### 96 神が聖母マリアにお与えになった特権とは何ですか。

神が聖母マリアにお与えになった特権とは次の

ようなものです。無原罪の御宿り。終生処女であること。神の母であること。体と靈魂ともに天に上げられたこと(被昇天)です。

### 97 無原罪の御宿りとはどういう特権ですか。

無原罪の御宿りとは、聖母が恩寵に満ちた御方であること、すなわち、贖いのみ業のすばらしい実りとして、出生の瞬間から原罪の汚れをまったく免れていて、全生涯にわたってひとつの罪も犯さなかったという意味です。

### 98 なぜ聖母マリアが本当に神の母であると言えるのですか。

聖母マリアが本当に神の母であると言えるのは、マリアが人となられた永遠である神の御子イエス・キリストの母だからです。

### 99 なぜ神の母を処女(おとめ)と呼びますか。

神の母を処女(おとめ)と呼ぶのは、聖母が常に処女であったから、すなわち出産の前も、間も、後も処女であったからです。

### 100 マリアが終生処女であったということはどういう意味がありますか。

マリアが終生処女であったということは、聖母自身のおことばが示すように、ご自分が主のはしためであり、それゆえ完全に神のものであったことを意味します。

### 101 聖母マリアは贖いの業においてどのような位置を占めていますか。

聖母マリアは贖いの業においてキリストの協力者の位置を占めます。

### 102 聖母マリアは贖いの業にどのように協力しましたか。

聖母マリアは全生涯にわたって、そして特に託身と十字架の時に信仰と従順によって、御子の贖いの業に協力なさいました。

### 103 なぜ聖母マリアが私たちの母であると言うのですか。

聖母マリアが私たちの母であると言うのは、従順によって新しいエバになりさらに私たちが恩恵によって結ばれている救い主キリストの母でもあるからです。

\*\*\*\*\*

神は私たちに二人の母親をお与えになりました。一人はこの地上の母、もう一人は天の母です。神の母は私たちにとって、神の次に愛すべきお方です。この愛を最もよく表わすのは、マリア様の徳をまねることで。特に、彼女の信仰、神への従順、御子への愛。聖母を愛すれば、イエスを愛するようになります。「なんでも彼の言うことをしなさい」と言われたお方ですから。マリア様が私たちの天の母であるなら、私たちは聖母のよい子として振舞わねばなりません。

彼女に祈り、信頼を込めてお話し、朝の起床のときをはじめ一日中何度も聖母を思い出し、夜寝る前に3度の天使祝詞を唱えることなどが勧められます。

## 27. 聖母マリア、教会の母

聖徒の交わりの中で、聖母マリアはどのような位置を占めるのでしょうか。聖母は教会の母と位置づけられています。1964年11月21日、パウロ6世教皇は第二バチカン公会議に集まった教父たちの前で聖母が教会の母であることを宣言なさいました。

聖母マリアの教会における役割は、特に受胎告知の際の承諾、カルワリオのいけにえの受諾、生まれたばかりの教会の中での祈りに現われます。マリアは世の終わりまで母として教会のために取り次がれます。聖母は被昇天によって救いの使命から手を引かれたのではなく、ひき続き絶えず仲介によって永遠の救いの賜物を私たちに取り次いでくださいます。そのために聖母は教会の中で弁護者とか助け手といったさまざまな呼称で呼ばれるのです。

マリアは、普遍的な救い主であるキリストに従い、全人類の救いに協力されます。死はエバを通じてこの世に入りましたが、生命はマリアを通じて来しました。この意味でマリアは新しいエバ、つまり、新しいアダムであるキリストとともに生きるすべての人の母なのです。処女でありながら母であるマリアは、教会の最も完全な象徴であり完成された姿です。と言うのは、教会は宣教と洗礼によって人を新しい不死のいのちに生むことによって母となる一方で、その花婿への忠実を完全に純粋に保つという意味で処女でもあるからです。

教会はマリアに特別の崇敬を捧げます。それによって「これからのち世々の人々は私を幸いな女と呼ぶでしょう」(ルカ1:48)という預言が実現されます。この崇敬は「聖母マリアへの教会の信心はキリスト教の礼拝の本性的な要素である」(パウロ6世教皇、『正しいマリア崇敬』56番)といわれるほど大切です。

教会は、マリアのうちに「贖いの最も優れた実りを感じ、ほめたたえ、あたかも最も純粋な姿のうちににおけるものとして、聖母のうちに、自分が完全にそうありたいと欲し、希望しているものを、喜びのうちに見つめるのである」(典礼憲章103番)。

教会は聖母においてすでに完成に達し、「しみも汚れもない花嫁」(エフェソ5:27)、聖なるものとなっています。それゆえ、罪に対して戦う信者はマリアに目を向けるのです(教会憲章65番参照)。マリアを呼び求めるとき、私たちは主のご意向に沿う事になります。なぜなら、主が弟子たちに聖母を母として受け入れるように頼まれたからです。聖母が教会の母というのは、聖母が教会に属していないという意味ではありません。それどころか、聖母は教会の中の卓越した特別な部分です。

\*\*\*\*\*

## 193なぜマリアが教会の母と言われるのですか。

マリアが教会の母と言われるのは、聖母が

キリストの母であるゆえに、キリストとともに同じ一つの体を構成する教会の信者と牧者の母だからです。

## 194なぜマリアが教会の特別の成員であると言われるのですか。

マリアが教会の特別の成員であるといわれるのは、聖母が最高の仕方でキリストにあがなわれ、救いの第一の協力者となったからです。キリストも聖母も教会を生みながら、教会に属しておられると言えます。

## 195マリアが教会の前表であるとはどういう意味ですか。

マリアが教会の前表であるとは、その処女であり母であるという身分のためです。花嫁としてマリアは新しいエバですが花嫁としての教会を象徴します。また母としてキリストの花嫁が豊かに子供をもうけることを表わします。

## 196マリアが教会の鑑(かがみ)であるとはどういう意味ですか。

マリアが教会の鑑(かがみ)であるのは、恩寵とすべての徳に満ちているからです。

## 197マリアが弁護者とか仲介者と呼ばれるのはなぜですか。

マリアが弁護者とか仲介者と呼ばれるのは、彼女が母の愛をもってキリストの十字架の犠牲に協力し、人間の救いを得られたからです。そして天国で人間のために絶えずとりなし、贖いの恩寵を配るために働かれるからです。

## 198マリアはなぜ教会の像(かたどり)であり初穂なのですか。

マリアが教会の像(かたどり)であり初穂なのは、私たちに先立って体と魂をもって天に行かれたことによって、必ず達成されるであろうと教会が待ち望んでいることを示されるからです。

## 199教会は聖母にどのような崇敬を捧げますか。

教会は聖母に特別の崇敬を捧げます。これは初代教会の時代に始まり世の終わりまで続くものです。こうして「これからのち世々の人々は私を幸いな女と呼ぶでしょう」という預言が実現します。

\*\*\*\*\*

主は私たちが御母を崇敬することを喜ばれます。このように教会は理解し、聖母に関する多くの祝日を祝い、無数の教会堂や小聖堂を聖母に捧げ、「お告げの祈り」や聖なるロザリオやスカプラリオなどの信心を祝福し、聖母信心の模範を示しています。

人間の愛において母親は特別の地位を占めます。聖母に対してもこのようにあるべきです。なぜなら私たちは聖母を必要とするからです。

しばしば聖母に祈りなさい。とくに就寝前に3回天使祝詞を祈りなさい。

アメリカ合衆国テロ攻撃後の

# 教皇様の動き

（9月11日から9月16日）

## 9月11日

アメリカでのテロ攻撃のニュースを聞かれた教皇様は、すぐにアメリカ合衆国大統領に対して電報を送り哀悼の言葉を告げられた。

## 9月12日

教皇様は一般謁見で、被害者、家族、救出作業にあたる人々、政府の指導者たちのために祈りを捧げられた。

## 9月13日

教皇様はこの日、バチカン在住の新しいアメリカ大使ジェームス・ニコルソン氏を迎え、大使の信任状表明に対してあいさつされ、今回のテロ攻撃についての悲しみを表明された。以下はその内容。

大使殿、

あなたを教皇座在住のアメリカ特命全権大使とする信任状を喜んでお受けします。大使は、祖国で大きな悲劇が起こったこの時に大使としての使命に取り掛かろうとなさっています。ワシントンとニューヨークでのテロ攻撃の犠牲者のため国中が悲しみに沈むこの時、私自身個人的にアメリカ国民の悲しみを心から共にしていることをお伝えしたいと思っています。また、大統領や政府で働く方々、救出作業や生存者の救護にあたる方々、そして特に被害者とその家族のために心からお祈りしていることもお伝えします。この非人間的な行為によって、世界中の人々が心から暴力を拒むことをしっかりと決意し、人類家族の中に憎しみや分裂の種をまく事柄に強く反抗し、一致と正義、平和という崇高な考えに鼓舞される国際協力の新しい時代の幕開けのため働くことができるよう祈っています。

前回のブッシュ大統領との会見で、歴史的にアメリカ国民の特徴を形作ってきた、人間、宗教、倫理的価値の豊かな遺産に対して深い尊敬を示しているということを強調しま

した。アメリカが倫理面で世界のリーダーシップを担うかどうかは、その根本的な原則に忠実であるかどうかにかかっているということもお伝えしました。アメリカは普遍的な真理である自由、自立、平等の機会を約束していますが、このことは宗教から受け継がれていることも強調します。宗教的ルーツから、生命の神聖さや一人ひとりの尊厳に対する尊重が生まれます。一人ひとりには創造主の似姿に基づいて形作られました。私たちは皆、共通善への責任、若者の教育への関心、社会の未来への責任を担っています。また寛大な神が自由に与えてくださった自然資源を分別をもって用いる必要性に対しても責任があります。

未来の問題に直面する時、アメリカは非常に価値のある国家遺産を育て生き抜くよう求められているのです。人々の一致と協調、人権の尊重、真の自由と永遠の平和にとって不可欠な正義はアメリカの遺産です。

私たちの前に開かれた今世紀、人類は貧困、病気、暴力といった古来からの敵に対して大きく前進する機会を与えられています。1995年国連に告げたように、20世紀という悲しみの世紀の次に「人間的な精神が始まる時代」として21世紀が続くためには、私たちの理解力が必要とされます。人類家族の前にある可能性は無限ですが、世界の中では必ずしもそれが表に現われているわけではありません。非常に多くの兄弟姉妹が飢餓や栄養失調に苦しみ、医療手当てや教育を受けることができず、不正な政府、武力闘争、強制移住、また新たな奴隷状態にも苦しめられています。可能性のあるチャンスをつかむ時、洞察力と寛大さが必要となりますが、それは特に自由や富、多くの資源に恵まれた人々に言えることです。世界経済のグローバル化から利益を得る人々とこういった利益から排除される人々との分裂は、緊急な倫理的問題であり、国際的な共同体は新しい創造的な対応を求められています。ブッシュ大統領との会見で述べたことをもう一度強調したいと思います。世界の自由の革命は、「チャンスの革命」によって完結されなければなりません。つまり、人類家族の全メンバーが、尊厳

ある生活を享受し、真の地球規模の発展を共有できるようになるということです。

以上のことから、世界中の不穏な状況に触れないわけにはいきません。中東では悲劇的な暴力が続いており、マドリッドで始まった平和交渉は深刻な危機にあります。アメリカ合衆国のおかげもあって、今回の平和交渉は聖地を見つめる人々の心に希望をもたらしていました。聖地は、人々が祈り出会う特別な場所なのです。アメリカがためらわずに現実的な対話を進めると確信しています。そうすることで人権と国際法が尊重され、安全、正義、平和を獲得することができるでしょう。

大使殿、新しい世紀の初めに目まぐるしく変化する世界で、アメリカは洞察力と倫理の力を行使するよう求められてますが、そのためには西洋の民主社会が経験している危機の精神的なルートを認めることが必要です。危機は、物質主義や功利主義、極端に非人間的な世界観によって特徴付けられており、西洋文明の倫理的基盤からは悲劇的に引き離されています。この状態を乗り越えるためには、民主主義やその経済・政治構造を、神が与えた核となる視野によって方向づけなければなりません。神は、生命を与える瞬間から寿命が来るまで、全人類に尊厳と侵すことのできない権利を与えられています。生まれる前の命も含めて、他者の個人的な選択に命がさらされると、その他の権利も長くは保証されず、社会は個人的な興味や利便さに必ず支配されることになります。厳密な功利主義の言葉で人間の尊厳を測る文化的傾向に、自由が抑えられるわけにはいきません。倫理的洞察力を再び鼓舞し、正義と自由の社会を保つための不可欠な要素を解決することが、現代のように急がれたことはありません。

以上のように述べてきましたが、国の希望であるアメリカの若者たちに思いが向かいます。アメリカ合衆国を訪問した時、特に1993年のデンバーでの世界青年大会で、アメリカの若者たちに寛大さと善が蓄えられていることを確認してきました。若い人々はアメリカにとって大きな宝です。それゆえ、皮肉的な考え方や利己主義を避けることができるよう多方面に及ぶ教育が必要であり、洗練された分別のある倫理的責任感を持った共同体のメンバーとして成長させなければならないのです。

新しい千年期が始まるにあたって、若い人

たちがチャンスを与えられ自らの役目に取り掛かれるように配慮しなければなりません。若者たちの役目は「新たな人間らしきを作り上げることです。そうすれば、兄弟姉妹、同じ家族のメンバーたちはようやく平和を生きることができるようでしょう。」(2001年世界平和の日でのメッセージ、22)

大使殿、あなたがアメリカの代表としてバチカンで仕事を始めるにあたって、もう一度繰り返したいと思います。アメリカ国民の方々が現代そして未来の難問に直面した時、深い霊的倫理的源に頼ることを願っています。霊的倫理的源は、アメリカの成長を促し導いてきました。そしてアメリカの偉大さを確かに保証し続けています。アメリカのカトリック共同体が、アメリカの未来を形作る過程において積極的な参加を示すと信じています。歴史的にも、責任感のある市民を育て、貧しい人、病気の人、困窮している人の救済においても重要な役割を担ってきました。アメリカ大使とその家族、アメリカの国民に喜びと平和の恵みがあるよう心から神にお願いします。

#### 9月14日

教皇様が被害者の救済と世界の平和と和解を心から願っておられることがバチカン報道局長ホアキン・ナバロ氏によって伝えられた。

#### 9月16日

教皇様はアメリカ合衆国に対して、テロリストの攻撃にならって「憎しみと暴力の誘惑に屈しないように」と強調された。

合衆国政府や軍部が自爆攻撃に対する処置やアフガニスタンのタリバン政権に対する対応を模索する中、教皇様は「愛すべきアメリカ国民」に「正義」をもって応えるようにと呼びかけられた。

教皇様はミサの終わりに聖母マリアに次のように祈られた。「悲劇的なテロ攻撃によって苦しむ人々に、聖母が慰めと希望をもたらしてくださいように。この出来事はアメリカ国民を深く傷つけています。聖母が死者を迎え、生存者を元気づけ、被害者の家族を支えてくださいますように。」また「アメリカ国民が憎しみや暴力ではなく正義と平和に専念すると約束すること」のために祈られた。